

市宮藤塚根郷住宅外壁等改修工事（2号棟2工区）

図 面 リ ス ト											
〔 意 匠 図 〕						〔 電 気 設 備 図 〕			〔 機 械 設 備 図 〕		
図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
A－01	特記仕様書（改修その1）	—	A－31	欠番	1/50, 30, 20						
A－02	特記仕様書（改修その2）	—	A－32	階段詳細図－1（平面図）	1／30						
A－03	特記仕様書（改修その3）	—	A－33	階段詳細図－2（断面図）	1／30						
A－04	特記仕様書（改修その4）	—	A－34	1階天井伏図	1／100						
A－05	特記仕様書（改修その5）	—	A－35	2階天井伏図	1／100						
A－06	特記仕様書（改修その6）	—	A－36	3階天井伏図	1／100						
A－07	外部仕上表	—	A－37	4、PH階天井伏図	1／100						
A－08	案内図・配置図	1／200	A－38	建具キープラン	1／150						
A－09	仮設計画図（参考図）	1／200	A－39	建具表	1／50						
A－10	1階平面図	1／100	A－40	外壁調査図－1（1階平面図）	1／100						
A－11	2階平面図	1／100	A－41	外壁調査図－2（2階平面図）	1／100						
A－12	3階平面図	1／100	A－42	外壁調査図－3（3階平面図）	1／100						
A－13	4階平面図	1／100	A－43	外壁調査図－4（4階平面図）	1／100						
A－14	R、PH階平面図	1／100	A－44	外壁調査図－5（R、PH階平面図）	1／100						
A－15	立面図－1	1／100	A－45	外壁調査図－6（立面図－1）	1／100						
A－16	立面図－2	1／100	A－46	外壁調査図－7（立面図－2）	1／100						
A－17	立面図－3	1／100	A－47	外壁調査図－8（立面図－3）	1／100						
A－18	1階平面詳細図－1	1／50	A－48	アスベスト除去工事特記事項（参考図）	—						
A－19	欠番	1／50									
A－20	2階平面詳細図－1	1／50									
A－21	欠番	1／50									
A－22	3階平面詳細図－1	1／50									
A－23	欠番	1／50									
A－24	4階平面詳細図－1	1／50									
A－25	欠番	1／50									
A－26	矩形図－1	1／30									
A－27	矩形図－2	1／30									
A－28	矩形図－3	1／30									
A－29	欠番	1／30									
A－30	矩形部分詳細図	1／20									
小計 48枚						小計 10枚			小計 枚		
合計 58枚											

（図面サイズ：A1版、A3版は50％縮小）
※この図面は、A3版印刷を標準とする。

6	改質アスファルトシート防水	屋内防水 防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>保護層</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・P1E</td><td>・E-1</td><td></td><td>保護層</td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・P2E</td><td>・E-2</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table> ・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位） ・押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示 屋根露出防水（既存） [3.4.2、3] 新設防水層の種類 <table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [3.2.1～3]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・M4AS</td><td>・AS-T1</td><td></td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※改質アスファルトの製造所の仕様</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・AS-T2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・AS-J2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M3AS</td><td>・AS-T3</td><td></td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※改質アスファルトの製造所の仕様</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・AS-T4</td><td></td><td></td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・AS-J1</td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M3AS</td><td>・AS-J3</td><td></td><td rowspan="3">（P.O.Sのみ）</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・AS-T1</td><td></td><td></td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・AS-T2</td><td></td><td></td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M4AS</td><td>・AS-T1</td><td></td><td rowspan="3">（材質） ※JIS A 9521による 発泡ポリスチレン</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・AS-T2</td><td></td><td></td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・AS-J1</td><td></td><td></td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	保護層	備考	・P1E	・E-1		保護層	・設ける	・P2E	・E-2			・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材 [3.2.1～3]	仕上塗料	備考	・M4AS	・AS-T1		（種類・使用量） ※改質アスファルトの製造所の仕様			・AS-T2				・AS-J2				・M3AS	・AS-T3		（種類・使用量） ※改質アスファルトの製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける	・AS-T4			（改修用） ・設ける	・AS-J1			・設けない	・M3AS	・AS-J3		（P.O.Sのみ）		（脱気装置） ・設ける	・AS-T1			（改修用） ・設ける	・AS-T2			（改修用） ・設ける	・M4AS	・AS-T1		（材質） ※JIS A 9521による 発泡ポリスチレン		（脱気装置） ・設ける	・AS-T2			（改修用） ・設ける	・AS-J1			（改修用） ・設ける	高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する ・適用しない	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.11から表3.4.31による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.11から表3.4.31による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.11から表3.4.31による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による ・種類（ ） ・設置数量（ ）個/㎡ 押え金物 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度	絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトルーフィング材の製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトルーフィング材の製造所の指定 絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない	新設防水層の種類 [3.5.2～4]表3.5.1～3	<table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [3]</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・POS</td><td>・S-F1</td><td></td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-M1</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・S-M2</td><td>・S-M2</td><td></td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-M3</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-M3</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・S3S</td><td>・S-F1</td><td>・プレキャストコンクリート下地</td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td>・プレキャストコンクリート下地</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-F2</td><td>・プレキャストコンクリート下地</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M4S</td><td>・S-M1</td><td></td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-M2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S-M3</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・POS1</td><td>・S1-F1</td><td>・プレキャストコンクリート下地</td><td rowspan="3">（材質） ※JIS A 9521による 発泡ポリスチレン</td><td></td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・S3S1</td><td>・S1-F2</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S4S1</td><td>・S1-F2</td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td rowspan="3">・M4S1</td><td>・S1-M1</td><td></td><td rowspan="3">（厚さ）・25mm ・50mm</td><td></td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td>・S1-M2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr> <td>・S1-M2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材 [3]	仕上塗料	備考	・POS	・S-F1		（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける	・S-F2			・設ける	・S-M1			・設ける	・S-M2	・S-M2		（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		・設ける	・S-M3			・設ける	・S-M3			・設ける	・S3S	・S-F1	・プレキャストコンクリート下地	（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける	・S-F2	・プレキャストコンクリート下地		・設ける	・S-F2	・プレキャストコンクリート下地		・設ける	・M4S	・S-M1		（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける	・S-M2			・設ける	・S-M3			・設ける	・POS1	・S1-F1	・プレキャストコンクリート下地	（材質） ※JIS A 9521による 発泡ポリスチレン		（脱気装置） ・設ける	・S3S1	・S1-F2		・設ける	・S4S1	・S1-F2		・設ける	・M4S1	・S1-M1		（厚さ）・25mm ・50mm		（改修用） ・設ける	・S1-M2			・設ける	・S1-M2			・設ける	高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する ・適用しない ・S-M2で立上り面を接合工法とする場合 立上り面のシート厚（※1.5mm） ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用 ・軽歩行仕様 ・S1-M1及びS3S1-M2における防湿用フィルム（・設置する ・設置しない）	屋内防水 防水層の種類	<table border="1"> <tr> <th>改修工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>平場の保護モルタル塗厚</th><th>立上り部の保護モルタル塗厚</th></tr> <tr> <td>・P1S</td><td>・S-G1</td><td></td><td></td><td>※7mm以下</td></tr> </table>	改修工法	種別	施工箇所	平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚	・P1S	・S-G1			※7mm以下	高日射反射率防水の適用 [3] ※適用する ・適用しない ・S-M2で立上り面を接合工法とする場合 立上り面のシート厚（※1.5mm） ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用 ※非歩行使用 ・軽歩行仕様 ・S1-M1及びS3S1-M2における防湿用フィルム（・設置する ・設置しない）	屋上防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ（ ）mm 目地割り（※2㎡程度 最大目地間隔3m程度） 目地の種類（※押し目地） ・行わない 合成高分子ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.31による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの 脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の指定による ・種類（ ） ・設置数量（ ）個/㎡ 接合工法の目地処理 P.C.コンクリート下地の場合（ ） P.C.コンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（・図示） ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法	※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3.6.2、3]	ウレタンゴム系塗膜防水工法	<table border="1"> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>備考</th></tr> <tr> <td rowspan="3">・OPUX</td><td>※X-1</td><td rowspan="3">屋上</td><td rowspan="3">（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様</td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>※X-2</td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td>※X-2H</td><td>・設けない</td></tr> <tr> <td rowspan="4">・L4X</td><td>※X-1</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="4">（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様</td><td>（脱気装置） ・設ける</td></tr> <tr> <td>※X-2</td><td>（改修用） ・設ける</td></tr> <tr> <td>※X-2H</td><td>・設けない</td></tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	・OPUX	※X-1	屋上	（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける	※X-2	（改修用） ・設ける	※X-2H	・設けない	・L4X	※X-1		（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける	※X-2	（改修用） ・設ける	※X-2H	・設けない
工法	種別	施工箇所	保護層	備考																																																																																																																																																																																																																			
・P1E	・E-1		保護層	・設ける																																																																																																																																																																																																																			
・P2E	・E-2			・設けない																																																																																																																																																																																																																			
工法	種別	施工箇所	断熱材 [3.2.1～3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																																																		
・M4AS	・AS-T1		（種類・使用量） ※改質アスファルトの製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																				
	・AS-T2																																																																																																																																																																																																																						
	・AS-J2																																																																																																																																																																																																																						
・M3AS	・AS-T3		（種類・使用量） ※改質アスファルトの製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・AS-T4				（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・AS-J1				・設けない																																																																																																																																																																																																																		
・M3AS	・AS-J3		（P.O.Sのみ）		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・AS-T1				（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・AS-T2				（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
・M4AS	・AS-T1		（材質） ※JIS A 9521による 発泡ポリスチレン		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・AS-T2				（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・AS-J1				（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
工法	種別	施工箇所	断熱材 [3]	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																																																		
・POS	・S-F1		（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-F2				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-M1				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
・S-M2	・S-M2		（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-M3				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-M3				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
・S3S	・S-F1	・プレキャストコンクリート下地	（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-F2	・プレキャストコンクリート下地			・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-F2	・プレキャストコンクリート下地			・設ける																																																																																																																																																																																																																		
・M4S	・S-M1		（種類・使用量） ※断熱材の製造所の仕様		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-M2				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S-M3				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
・POS1	・S1-F1	・プレキャストコンクリート下地	（材質） ※JIS A 9521による 発泡ポリスチレン		（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S3S1	・S1-F2			・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S4S1	・S1-F2			・設ける																																																																																																																																																																																																																		
・M4S1	・S1-M1		（厚さ）・25mm ・50mm		（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S1-M2				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
	・S1-M2				・設ける																																																																																																																																																																																																																		
改修工法	種別	施工箇所	平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚																																																																																																																																																																																																																			
・P1S	・S-G1			※7mm以下																																																																																																																																																																																																																			
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																																																			
・OPUX	※X-1	屋上	（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																			
	※X-2			（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																			
	※X-2H			・設けない																																																																																																																																																																																																																			
・L4X	※X-1		（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける																																																																																																																																																																																																																			
	※X-2			（改修用） ・設ける																																																																																																																																																																																																																			
	※X-2H			・設けない																																																																																																																																																																																																																			
	③ 塗膜防水																																																																																																																																																																																																																						

10

ステンレス製建具

性能値等

[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~4]

11

木製建具

性能値等

[5. 7. 2~4]

12

建具用金物

性能値等

[5. 8. 1~3]

13

鍵

性能値等

[5. 8. 4]

14

自動ドア開閉装置

性能値等

[5. 9. 2, 3]

15

自閉式上吊り引手装置

性能値等

[5. 10. 3]

16

重量シャッター

性能値等

[5. 11. 2, 3]

6 内装改修工事

1 改修範囲

既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま。・図示

[6.1.2]

2 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲。除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。
改修後の床の滑溜範囲 ※改修箇所の室内。

[6.2.2]

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造物の補修
※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置。・図示）
・図示

[6.3.2]

4 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(b)による

[6.5.2]

5 製材 ㊦

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

[6.5.2]

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級	※A種・B種		・
		※2級	※A種・B種		・

・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節	※A種・B種		・
見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種		・
			※A種・B種		・

・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下 ・A種・B種		・
		※1等	※10%以下 ・A種・B種		・

・JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		() 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	・する ・しない	・
		造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	・する ・しない	・

6 造作用集成材 ㊦

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

[6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等・2等	・
					※1等・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							※1等・2等	・
							※1等・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・
						※15%以下	・

7 造作用単板積層材 ㊦

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

[6.5.2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※14%以下	・する ・しない	・
			※14%以下	・	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用
							・
							・

35	階段滑り止め	材種 ・ステンレス製 ・アルミニウム製押出型材 形状 ※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等） ・タイヤレス製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法	(20.2.7)
36	黒板及び ホワイトボード	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ほうろう ・鋼製 色 ※緑 ・ホワイトボード（ ）	(20.2.9)
37	表示	衝突防止表示 ・設置場所 ※図示による 形状・寸法 (・30Φ 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ビクトグラフィ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、 取付け形式等(案内用図記号はJIS 2 8210による) ※図示による	(20.2.11)
38	タラップ	材質及び仕上げ ・SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし） ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.2による種別 ※C種 ・種1) 。	(20.2.12)
39	ブラインド	(20.2.14)	
40	ロールスクリーン	形式 操作 操作方法的の種類 スラットの材種 びり幅 (mm) びり幅・レールの材種 幅・高さ 取付箇所 ・横形 ・手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム 合金製 25 ※鋼製 ・コード式 ・操作棒式 ・電動 — ・縦形 ・手動 ※2本操作1式 ※アルミスラット 80 ※76×46 合金製 ・1本操作1式 ・電動 — 縦型ブラインドのスラットの材質 アルミスラット 塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 となる 操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅、高さ、取付箇所 ・図示 材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は となる	(20.2.15)
41	カーテン	(20.2.16)	
42	カーテンレール	材料による区分 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製 強さによる区分 ・16-90 仕上げ ・アルマイト 形状 ・角形	(20.2.16)
43	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	横幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材種 ・鋼製(仕上り) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) ・鋼製(標準仕様書表14.2.1) ・B0-1種 ・B0-2種 色合い ・標準色() ・特注色() ・鋼製(仕上り)	(20.2.16)
44	天井点検口	材種 寸法 形式 外枠 内枠 ※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ ・気密形	(20.2.16)
45	床点検口	材種 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・鍵付き ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 鋼製	(20.2.16)
46	くつふきマット	密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。	(20.2.16)
47	流し台ユニット	材質 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 ドラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・600 ・670 パックガード有り ・600 ・650 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 ・— ・— 市販品 ・900 ステンレス製 ・600 一式	(20.2.16)
48	鋼製書架及び物品棚	品質・性能 外形は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示 種類 規格等 JISによる種類 ・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種	(20.2.16)
49	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り	(20.2.16)
50	洗面カウンター	材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600	(20.2.16)
51	防煙垂れ壁	・固定式 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考 ※納入し磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き ・線入り磨板ガラス	(20.2.16)
52	収納家具	・可動式 種 類 材 質 高さ(mm) 備 考 ・垂直降下式 (巻取り型) ※不燃認定品 ※500 ・800 ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型) ・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 ・800 表面仕上げ ※天井材張り	(20.2.16)
53	環境配慮改修工事	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) 材質、形状、寸法 ※図示 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	(20.2.16)
54	塗装改修工事	(20.2.16)	
55	床点検口	(20.2.16)	
56	天井点検口	(20.2.16)	
57	床点検口	(20.2.16)	
58	天井点検口	(20.2.16)	
59	床点検口	(20.2.16)	
60	天井点検口	(20.2.16)	
61	床点検口	(20.2.16)	
62	天井点検口	(20.2.16)	
63	床点検口	(20.2.16)	
64	天井点検口	(20.2.16)	
65	床点検口	(20.2.16)	
66	天井点検口	(20.2.16)	
67	床点検口	(20.2.16)	
68	天井点検口	(20.2.16)	
69	床点検口	(20.2.16)	
70	天井点検口	(20.2.16)	
71	床点検口	(20.2.16)	
72	天井点検口	(20.2.16)	
73	床点検口	(20.2.16)	
74	天井点検口	(20.2.16)	
75	床点検口	(20.2.16)	
76	天井点検口	(20.2.16)	
77	床点検口	(20.2.16)	
78	天井点検口	(20.2.16)	
79	床点検口	(20.2.16)	
80	天井点検口	(20.2.16)	
81	床点検口	(20.2.16)	
82	天井点検口	(20.2.16)	
83	床点検口	(20.2.16)	
84	天井点検口	(20.2.16)	
85	床点検口	(20.2.16)	
86	天井点検口	(20.2.16)	
87	床点検口	(20.2.16)	
88	天井点検口	(20.2.16)	
89	床点検口	(20.2.16)	
90	天井点検口	(20.2.16)	
91	床点検口	(20.2.16)	
92	天井点検口	(20.2.16)	
93	床点検口	(20.2.16)	
94	天井点検口	(20.2.16)	
95	床点検口	(20.2.16)	
96	天井点検口	(20.2.16)	
97	床点検口	(20.2.16)	
98	天井点検口	(20.2.16)	
99	床点検口	(20.2.16)	
100	天井点検口	(20.2.16)	

10鉄筋工事

1鉄筋

鉄筋の種類(5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295	※D18以下	
・SD345	※D19以上	
・		
・		

2溶接金網

形状等(5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等(5.3.4)

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ガス圧接・機械式継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	・溶接継手	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手	
その他の鉄筋()	・ガス圧接・重ね継手	

継手位置
・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.2、8.1)
・図示による()
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による()
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(g))
・図示による()
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に入れる部分の位置及び施工方法等
・図示による()

4鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ(5.3.4)
・図示による()

機械式定着工法
適用箇所
・図示による()
種類
・摩擦圧接結合
・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。

5鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)
※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1)
・図示による()
柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり
適用箇所()
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり
適用箇所()
・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm

6各部配筋

※図示による(5.3.7)

7ガス圧接

圧接完了後の圧接部の試験(5.4.10)
外観試験
※行う(全ての圧接部)
抜取試験
※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(a)による)
・引張試験
試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(b)による

8機械式継手

適用箇所(5.5.3、5)
・図示による()
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
種類
・ねじ鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式
・有機グラウト方式
・端部ねじ加工継手
・フルタル充填式継手
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
・評定等の評価内容による
試験方法
・評定等の評価内容による
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
試験の箇所数
・1ロットに対して()箇所
・全数
試験項目 ※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置

9溶接継手

適用箇所(5.5.3、5)
・図示による()
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による()
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による()

11コンクリート工事

1コンクリートの種類等

種類(6.2.1)
Ⅰ類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)
Ⅱ類(JIS A 5308 に適合したコンクリート)
普通コンクリート(6.2.1~6.2.4)

設計基準強度(N/mm ²)	気乾単位容積質量(t/m ³)	スランプ	適用箇所
・24	・2.3程度	・15又は18・18	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正值(S)(6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正值S=3(月日~月日、月日~月日)
S=6(月日~月日、月日~月日)

2セメント

種類(6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所(※下記以外全て)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。
・高炉セメントB種 〔A〕
適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む))
・フライアッシュセメントB種 〔B〕
適用箇所()

3骨材

アルカリシリカ反応性による区分(6.3.1)
※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下)

4混和材料

・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による

5打練ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打練ぎ目地

打練ぎの位置(6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による()
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による()

目地の寸法(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による
※ひび割れ誘発目地、打練目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による()

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法(6.8.1)
・図示による()

6湿潤養生

湿潤養生の期間(6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合()日

7コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ(6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・A種	※図示による()
・B種	※図示による()
・C種	※図示による()

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	※図示による()
・b種	※図示による()
・c種	※図示による()

8打増し厚さ(打放し仕上げ部)

打増し厚さ(6.8.1)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm
・20mm
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm
打増し範囲
・図示による()

9型枠

せき板の材料及び厚さ(6.8.2)
・合板(※12mm) 〔B〕
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所 図示による()
・MCR工法用シートの使用
適用箇所 図示による()
打増し厚さ 20mm
打増し範囲 図示による()
スリーブの材種・規格等
・図示による()

存置期間及び取外し(6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合(※図示による())

10軽量コンクリート

適用箇所(6.10.1、2)
・図示による()
種類
・1種
・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による
スランプ
※21cm

11寒中コンクリート

適用期間(月日~月日)(6.11.1、2)
構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による()、S=()

12暑中コンクリート

適用期間(月日~月日)(6.12.2)
構造体強度補正值(S)
※6N/mm²・図示による()、S=()

13マスコンクリート

適用箇所(6.13.1、2)
・図示による()
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・普通ポルトランドセメント
・中熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・普通ポルトランドセメント
・中熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
混和材料の適用
・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による)・標準仕様書6.13.2(2)(4)による
スランプ
※15cm
構造体強度補正值(S)
※標準仕様書表6.13.1による

14無筋コンクリート

コンクリートの種類(6.14.1)
※普通コンクリート
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 〔A〕
・フライアッシュセメントB種 〔B〕
設計基準強度 ※28(N/mm²)
スランプ ※15cm又は18cm
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所
・図示による()

15コンクリートの単位水量測定

実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(イ)(c)による。
(3)本工事に伴う手続き(設備含む)は受注者負担とし、遅延なく行うこと。
(4)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打たずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(5)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、7-M法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

12その他

1その他
(1)工事着工日については、監督員と調整すること。(暑い時期の工事は避けること)
(2)工事中に破損した境界標、道路等は必ず現状復旧すること。
(3)本工事に伴う手続き(設備含む)は受注者負担とし、遅延なく行うこと。
(4)住民の生活に配慮し工事すること。
(5)アスベストに関しては事前調査結果を報告すること。
(6)工事対象部分、工事対象外部分を図面にて確認すること。
(7)その他、注意事項については図面参照とする。

訂正

備考

春日部市都市整備部
住宅政策課

工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)
図面名称 特記仕様書(改修その6)
縮尺 A1: ー
A3: ー

図面番号
A ー 0 6

外部仕上

[illegible]

共通事項

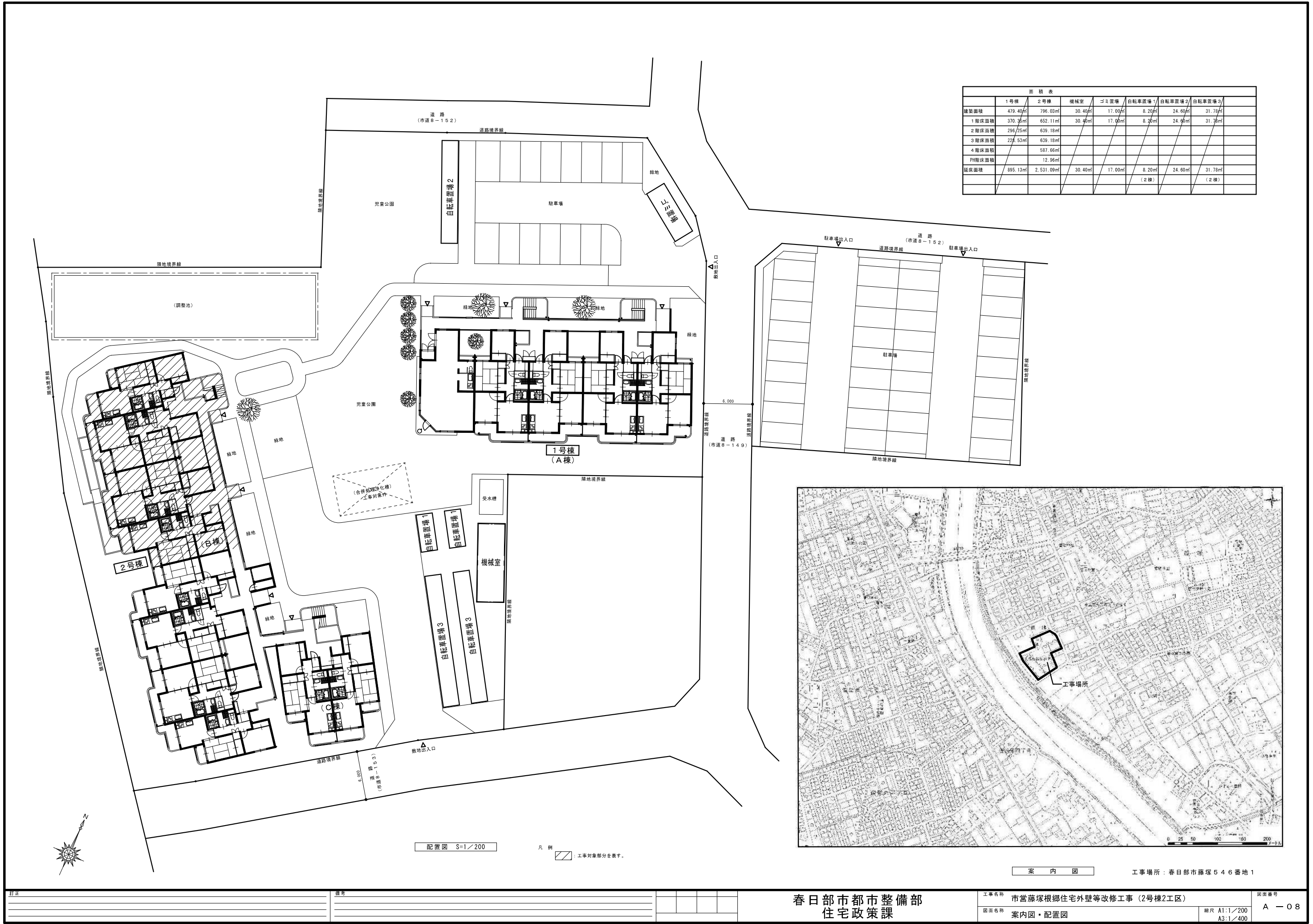
- ★印は、アスベスト含有レベル3（石綿含有仕上塗材下地調整材に含有）とする。アスベスト除去は部分除去として、除去部分はクラック等の劣化部補修部分・バルコニー等の手摺壁天端・庇上面とする。（別図外壁調査図参照）
- アスベスト除去は、（湿式）集塵装置付きディスク/インジェクタ工法（ウォータークリーンSG工法等）による除去とし、関係法令に従い除去・適切処分する事。（補助対象工事）
- 劣化部補修については、別図（外壁調査図）を参照とする。（補助対象工事）
- アスベスト除去及び劣化部補修において既存塗膜を撤去した部分は、下地調整（C-2）を行う。バルコニー・サッシ上部・外廊下・階段の手摺壁天端は、下地調整（C-1）なしとする。
- 外壁の高圧洗浄（30Ma）：高圧水洗機の高圧力は、試験施工を行う。（石綿含有仕上塗材下地調整材の飛散に十分注意する。）
- 室外機がバルコニーにある場合はバルコニー内で移動し、施工する。サービスバルコニーにある場合は一時撤去・再取付し、施工する。

外部付属品等（全て、補助対象外工事）

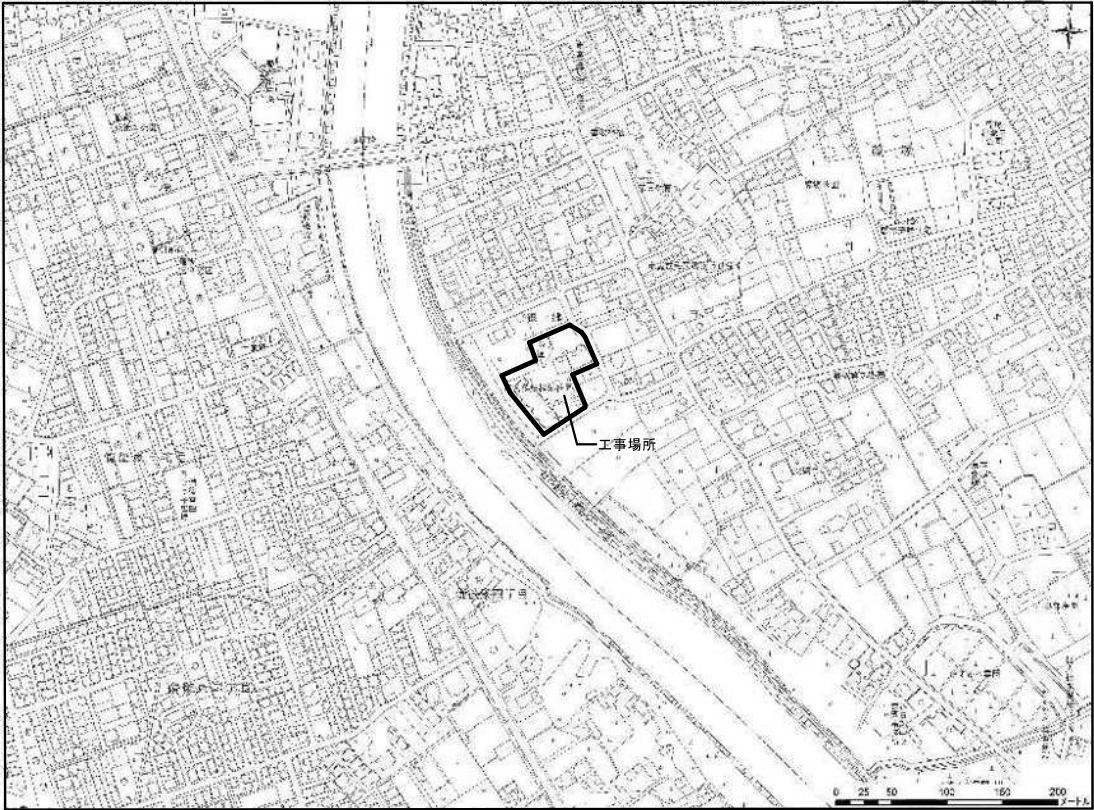
部 位	記号	名 称	改 修 前	改 修 後	部 位	記号	名 称	改 修 前	改 修 後
外 壁	①	換気ガラリ	アルミ製 150φ	清掃、周囲シーリング：撤去・新設（MS-2）	外廊下	⑦	アルミ製手すり	アルミ成型材 アルマイト H=1,120	清掃、支柱周囲シーリング：撤去・新設（MS-2）
	②	ウェザーカバー	ステンレス製 300×300	清掃、周囲シーリング：撤去・新設（MS-2）		⑫	アルミ製手すり	アルミ成型材 アルマイト（ブラケット式）	現状のまま
	③	通気口	鋳鉄製 150φ、100φ	下地処理（ケレン・錆止め）の上、DP塗装		⑬	アルミ製窓面格子	アルミ成型材 アルマイト W=1,500・H=900	一時撤去・再取付
	③	小屋裏換気パイプ	塩ビ製パイプ50φ	下地処理の上、DP塗装		⑭	階数表示板	樹脂製 150×150	既存撤去・新設
	④	棟番号	アルミ製 270×540	清掃		⑮	消火器（収納箱）	ABC10型 1本用	既存撤去・新設
	⑤	7段製窓落下防止手摺	アルミ成型材 アルマイト w1,800×h500	清掃	⑯	電気盤	鋼板製	下地処理（ケレン・錆止め）の上、DP塗装	
バルコニー	⑥	隔て板	ケイカル板厚5★、枠：アルミ成型材	ケイカル板★：下地処理の上、EP-G塗装、枠：清掃 ※ケイカル板損傷部：撤去・新設（タテカ貼付）8箇所（タテカ両面貼）	外部階段	⑰	防鳥ネット	ナイロンネット・周囲L型鋼ビス留め	一時撤去・再取付、取付支柱・金物：下地処理の上、DP塗装
	⑦	アルミ製手すり	アルミ成型材 アルマイト H=1,120	清掃、支柱周囲シーリング：撤去・新設（MS-2）		⑱	アルミ製手すり	アルミ成型材 アルマイト（ブラケット式）	現状のまま
	⑧	避難ハッチ	ステンレス製 600×600	清掃					
	⑨	物干金物	アルミ製（横型ブラケット）	清掃					
	⑩	室外機取付ボルト	ステンレス製 M10×4本（1世帯）	現状のまま					
サビ止バルコニー	⑪	アルミ製手すり（面格子）	アルミ成型材 アルマイト W=1,000・H=500	清掃					

共通事項 ・★印は、アスベスト含有レベル3（石綿含有建材）とする。関係法令に従い除去・適切処分する事。

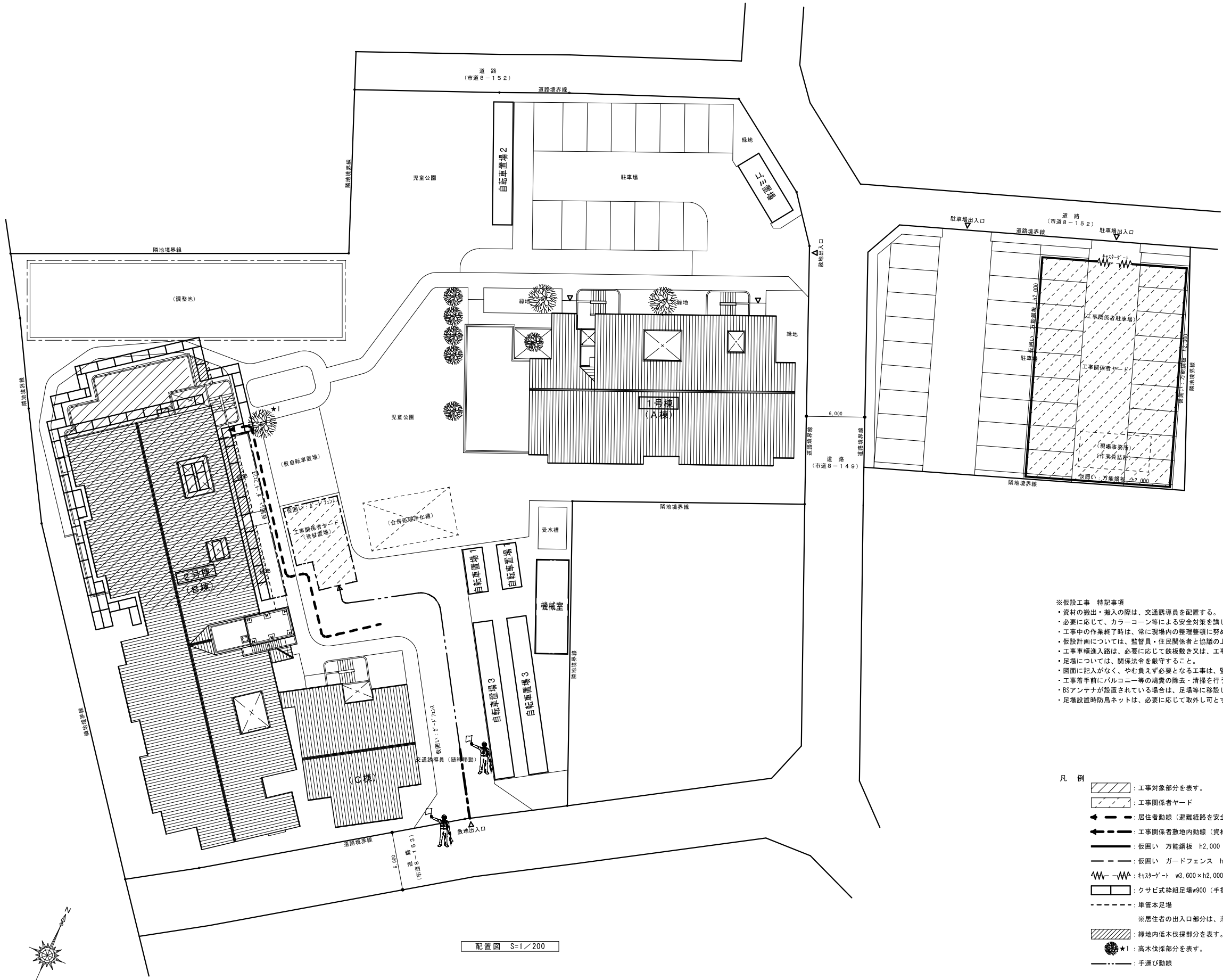
訂正	備考					春日部市都市整備部 住宅政策課	工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事（2号棟2工区）	図面番号 A - 07
							図面名称 外部仕上表	縮尺 A1: - A3: -



面積表							
	1号棟	2号棟	機械室	ゴミ置場	自転車置場1	自転車置場2	自転車置場3
建築面積	479.40㎡	796.03㎡	30.40㎡	17.00㎡	8.20㎡	24.60㎡	31.78㎡
1階床面積	370.36㎡	652.11㎡	30.40㎡	17.00㎡	8.20㎡	24.60㎡	31.78㎡
2階床面積	296.25㎡	639.18㎡					
3階床面積	228.53㎡	639.18㎡					
4階床面積		587.66㎡					
PH階床面積		12.96㎡					
延床面積	895.13㎡	2,531.09㎡	30.40㎡	17.00㎡	8.20㎡	24.60㎡	31.78㎡
					(2棟)		(2棟)



案内図 工事場所：春日部市藤塚546番地1

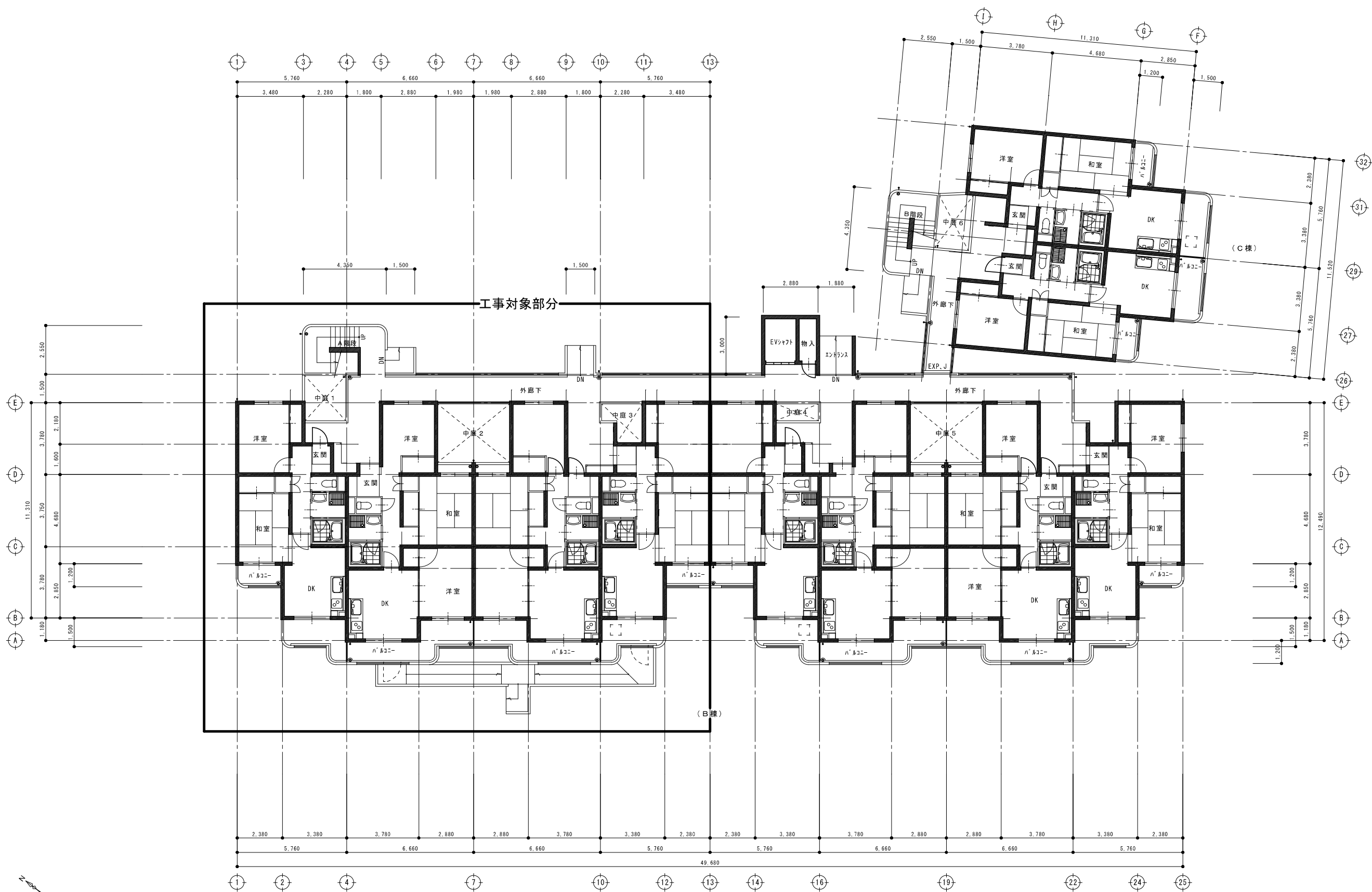


- ※仮設工事 特記事項
- ・資材の搬出・搬入の際は、交通誘導員を配置する。
 - ・必要に応じて、カラーコーン等による安全対策を講じる。
 - ・工事中の作業終了時は、常に現場内の整理整頓に努め、場内清掃を実施する。
 - ・仮設計画については、監督員・住民関係者と協議の上、適切に設置する事。
 - ・工事車輛進入路は、必要に応じて鉄板敷き又は、工事完了後に現状に復旧させる事。
 - ・足場については、関係法令を厳守すること。
 - ・図面に記入がなく、やむを得ず必要となる工事は、監督員と協議の上、施工を行う事。
 - ・工事着手前にバルコニー等の境裏の除去・清掃を行う事。
 - ・BSアンテナが設置されている場合は、足場等に移設し常に受信可能な状況にする事。
 - ・足場設置時防鳥ネットは、必要に応じて取外し可とする。

- 凡 例
- ：工事対象部分を表す。
 - ：工事関係者ヤード
 - ：居住者動線（避難経路を安全に確保する。）
 - ：工事関係者敷地内動線（資材搬出入時）
 - ：仮囲い 万能鋼板 h2,000 72 m
 - ：仮囲い ガードフェンス h1,800 103 m
 - ：キャスター w3,600×h2,000 1箇所
 - ：クサビ式枠組足場w900（手摺先行方式）、養生シート張り
 - ：単管本足場
 - ※居住者の出入口部分は、落下物防止対策・安全対策を行う。
 - ：緑地内低木伐採部分を表す。 53 m²
 - ★1：高木伐採部分を表す。 1 本
 - ：手運び動線

配置図 S=1/200





1階平面図 S=1/100

訂正

備考

春日部市都市整備部
住宅政策課

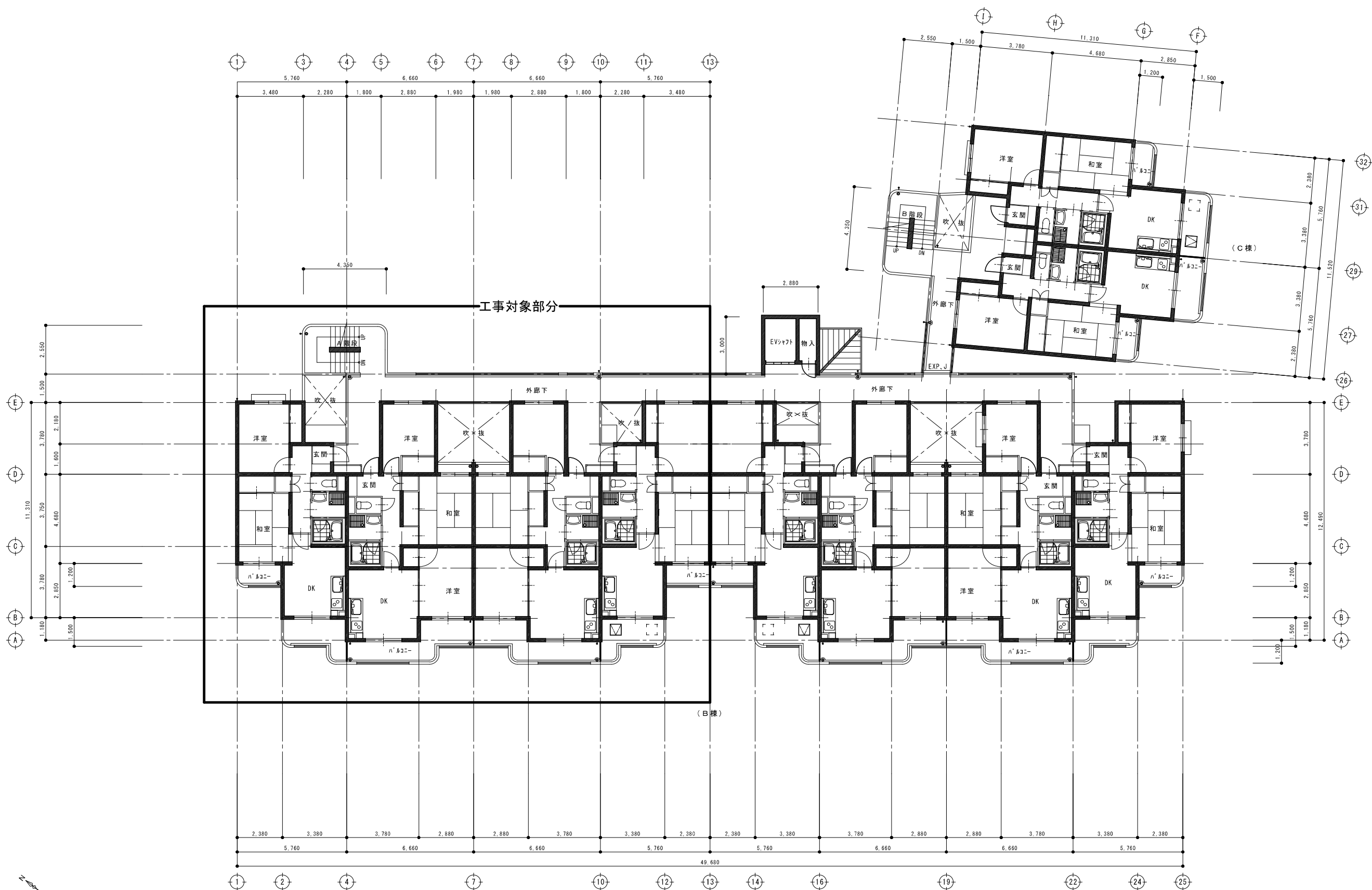
工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)

図面名称 1階平面図

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

図面番号

A - 10



訂正

備考

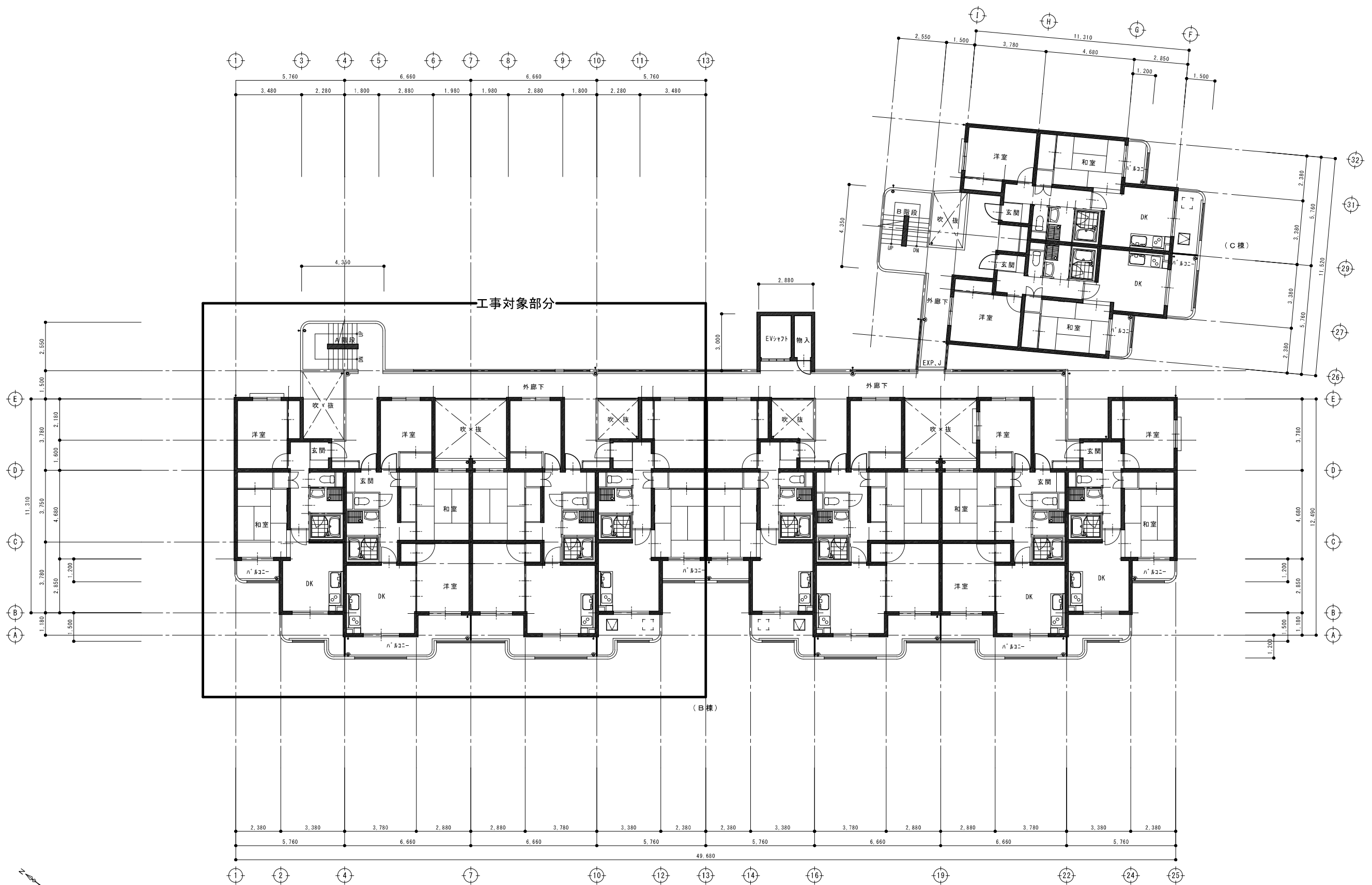
春日部市都市整備部
住宅政策課

工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)
図面名称 2階平面図

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

図面番号

A - 1 1



3階平面図 S=1/100

訂正

備考

春日部市都市整備部
住宅政策課

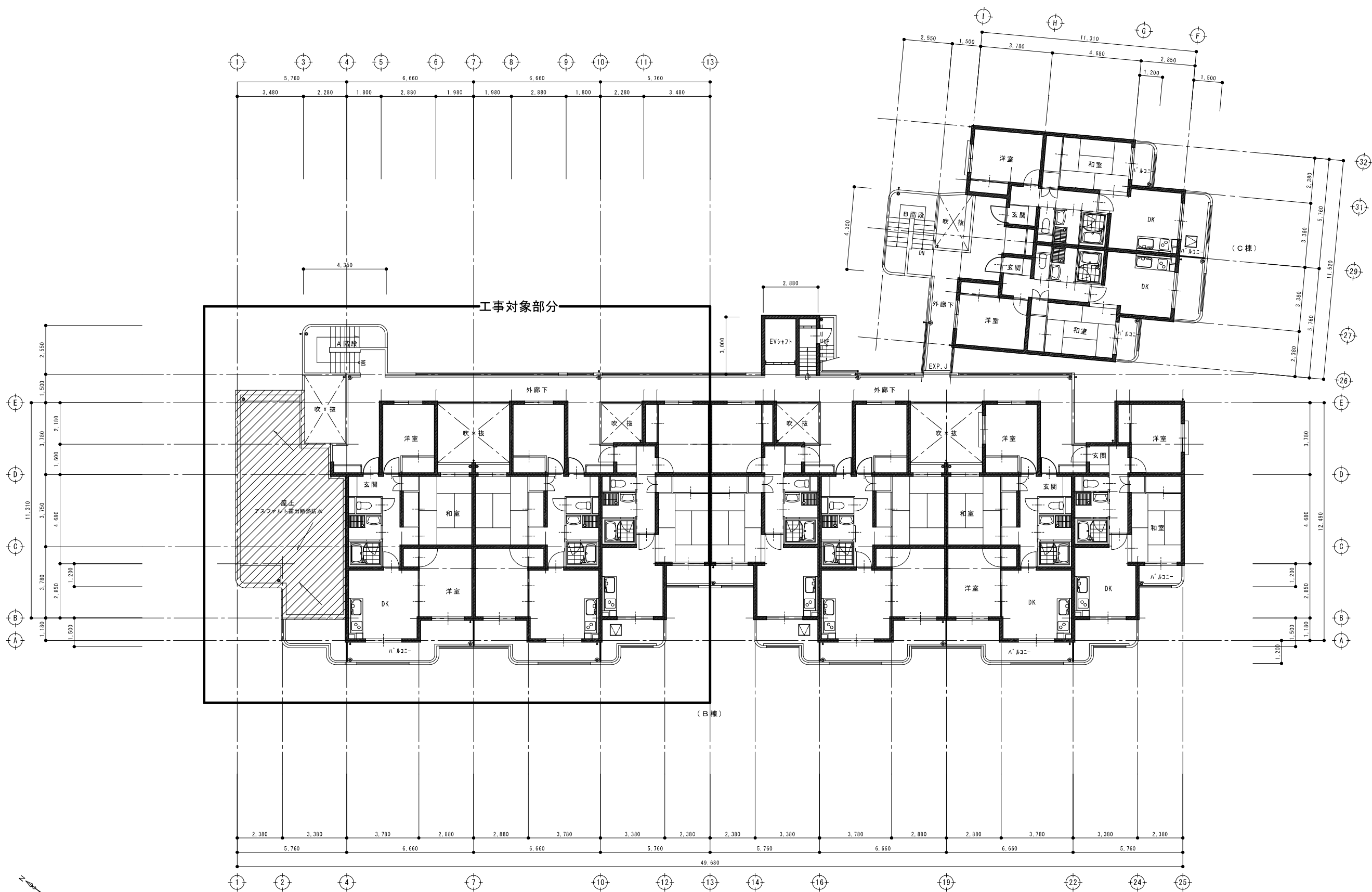
工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)

図面名称 3階平面図

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

図面番号

A - 1 2



4階平面図 S=1/100

凡例
屋上防水改修部分を表す。

訂正

備考

春日部市都市整備部
住宅政策課

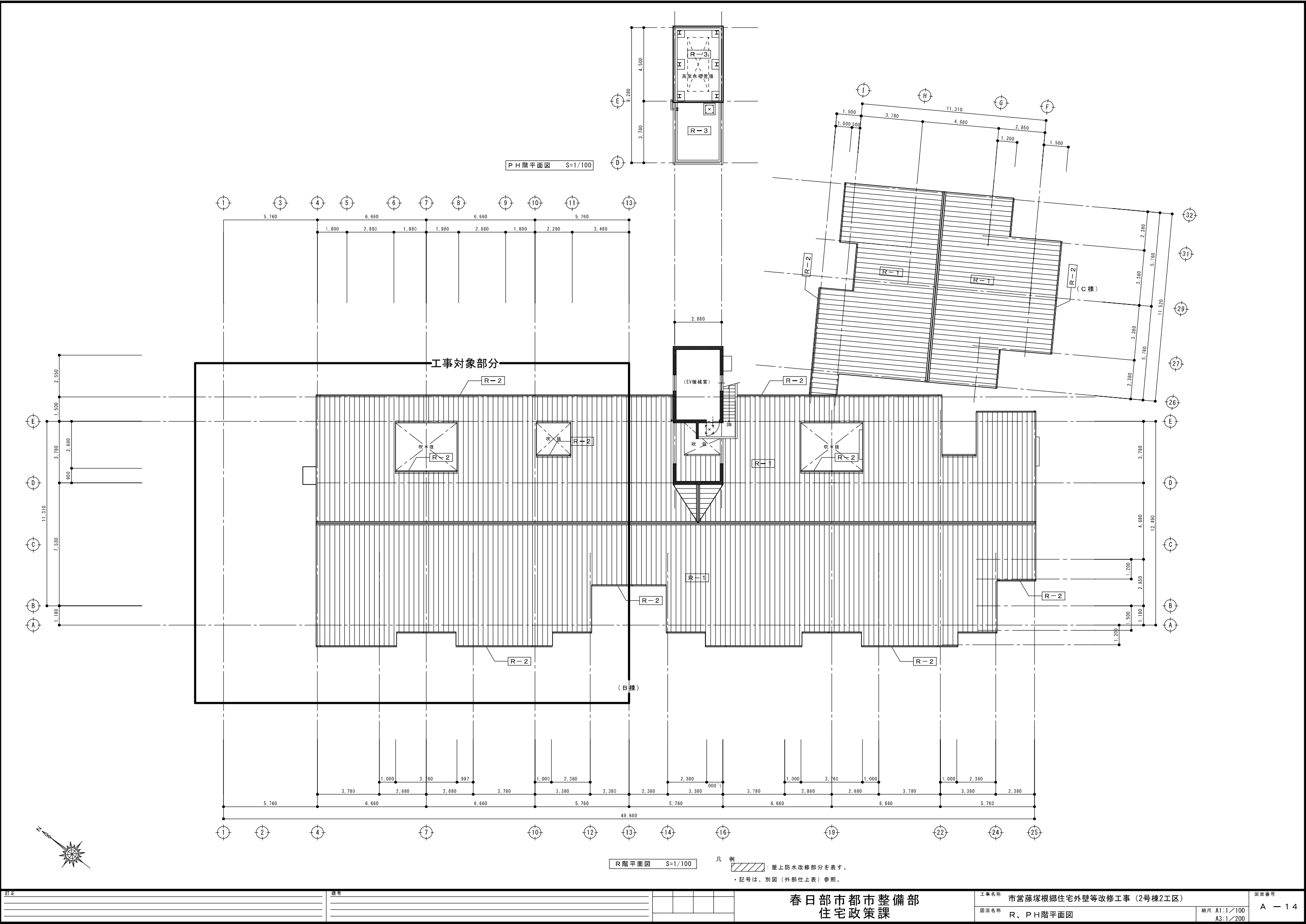
工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)

図面名称 4階平面図

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

図面番号

A - 13

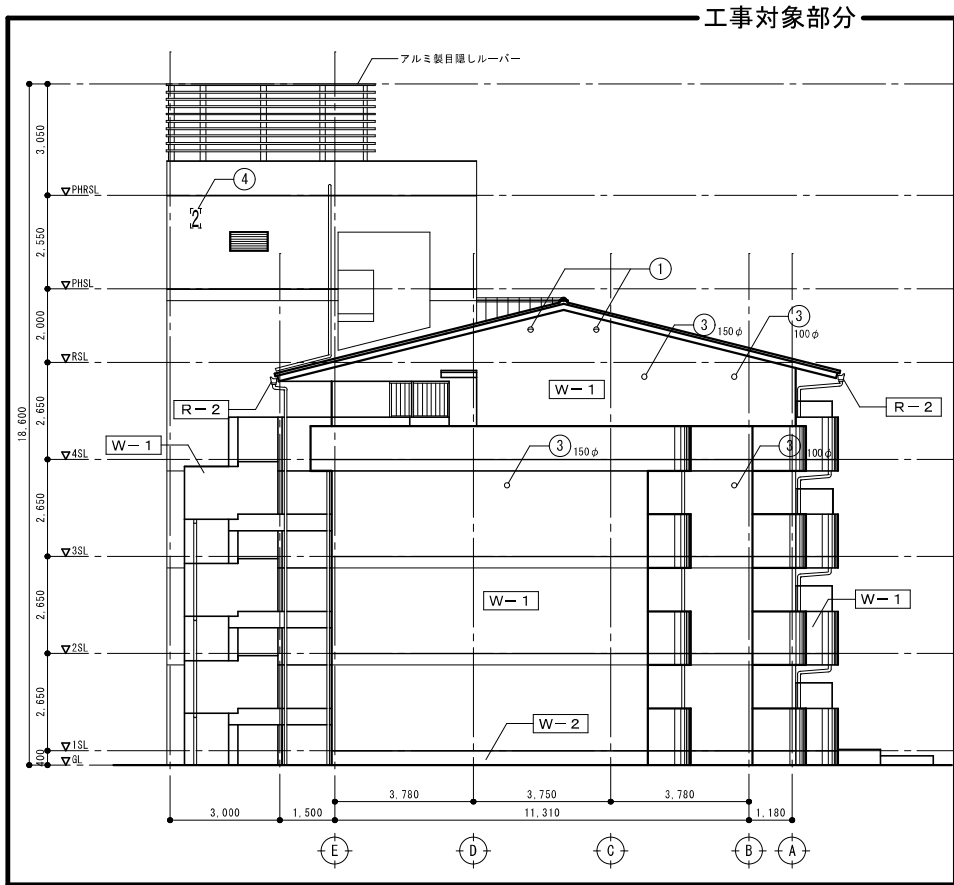


訂正	

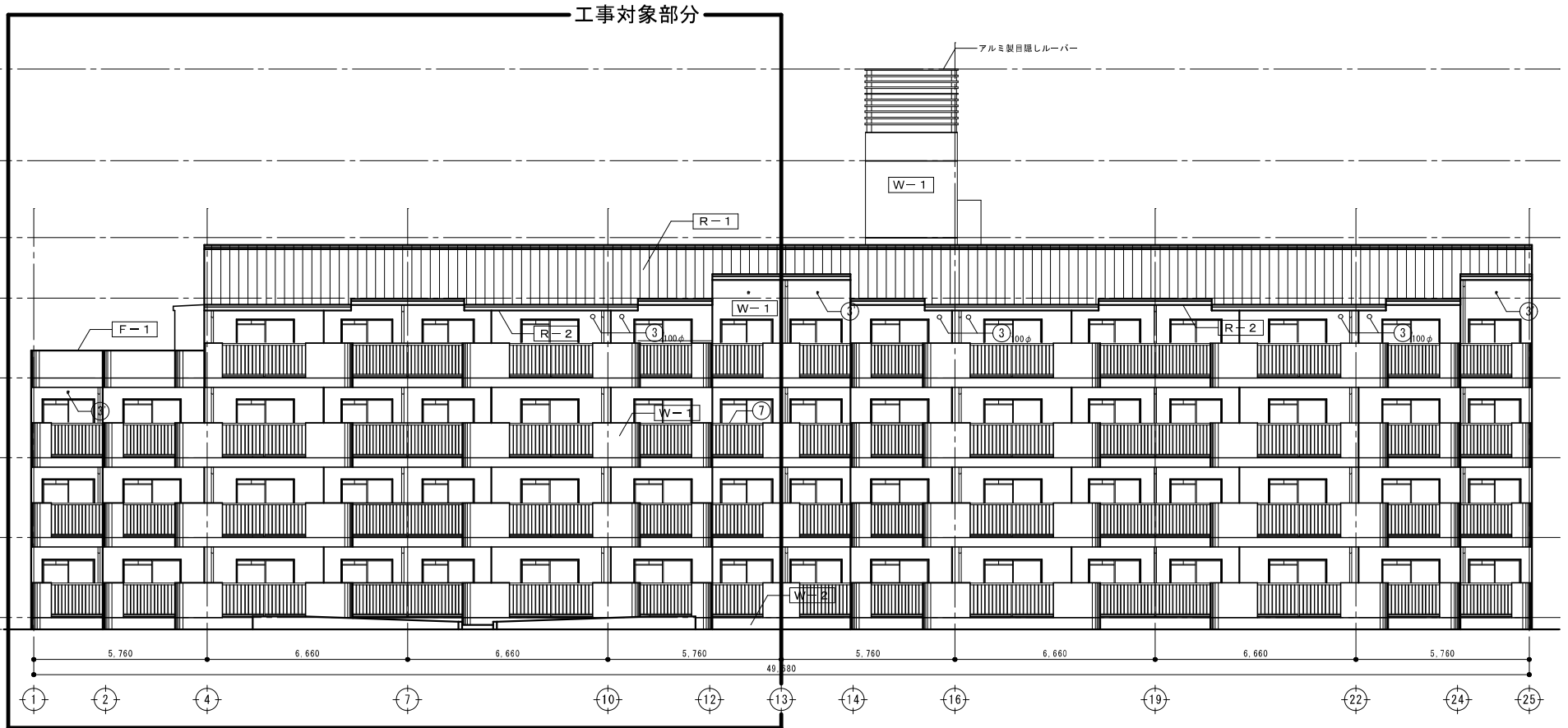
備考	

春日部市都市整備部
住宅政策課

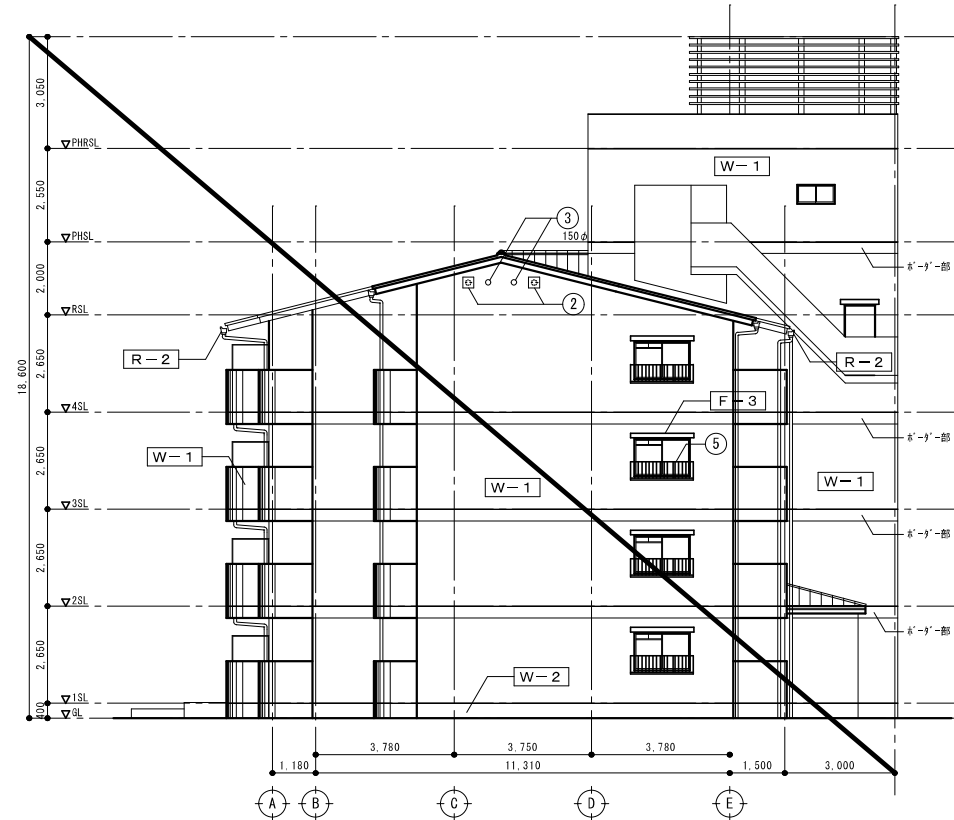
工事名称	市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事(2号棟2工区)
図面名称	R、PH階平面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200



西 1 立面図 S=1/100



南 1 立面図 S=1/100



東 1 立面図 S=1/100



北 1 立面図 S=1/100

特記事項

- ・外廊下に面するアルミ製窓面格子は、平面詳細図参照。
- ・バルコニー・中庭に面するバップード・ベントリャは、平面詳細図参照。
- ・記号は、別図（外部仕上表）参照。

訂正

備考

春日部市都市整備部
住宅政策課

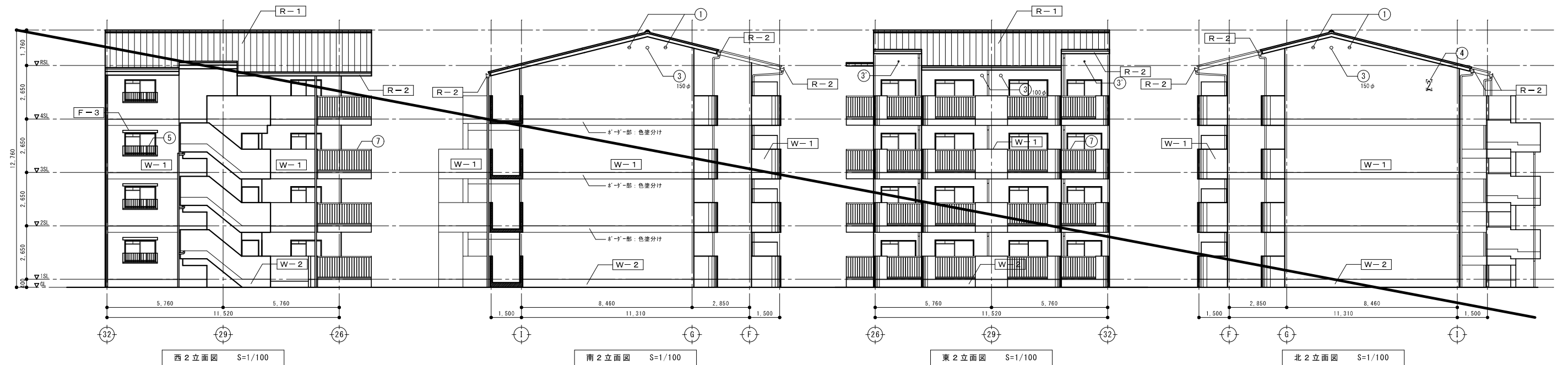
工事名称 市営藤塚根郷住宅外壁等改修工事（2号棟2工区）

図面名称 立面図－1

縮尺 A1:1/100
A3:1/200

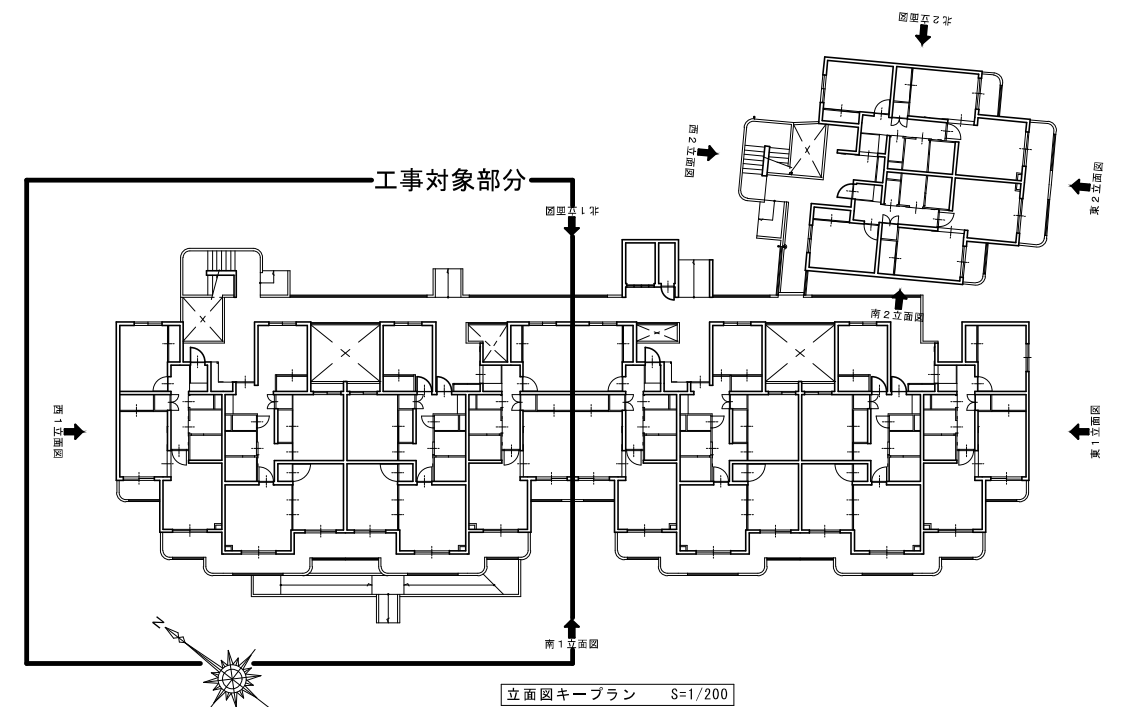
図面番号

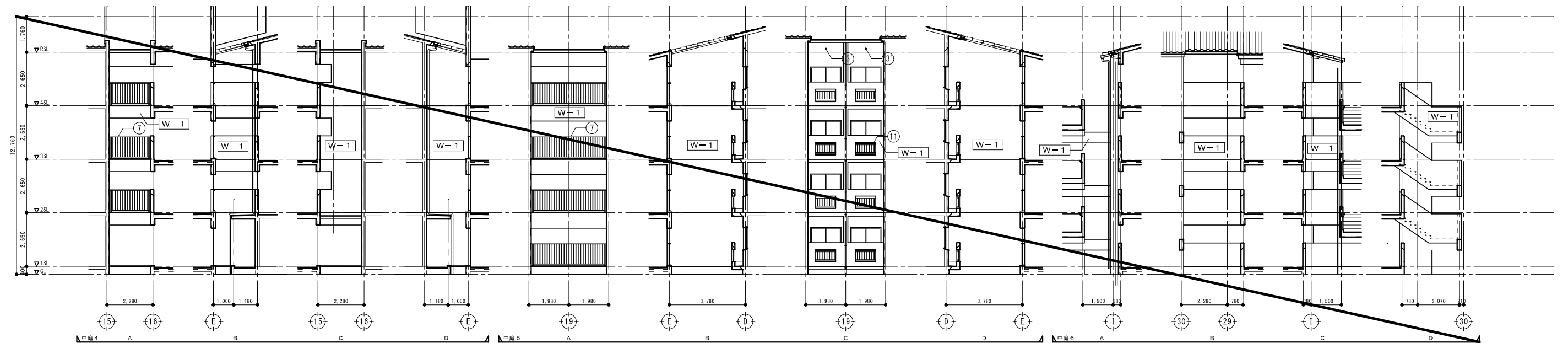
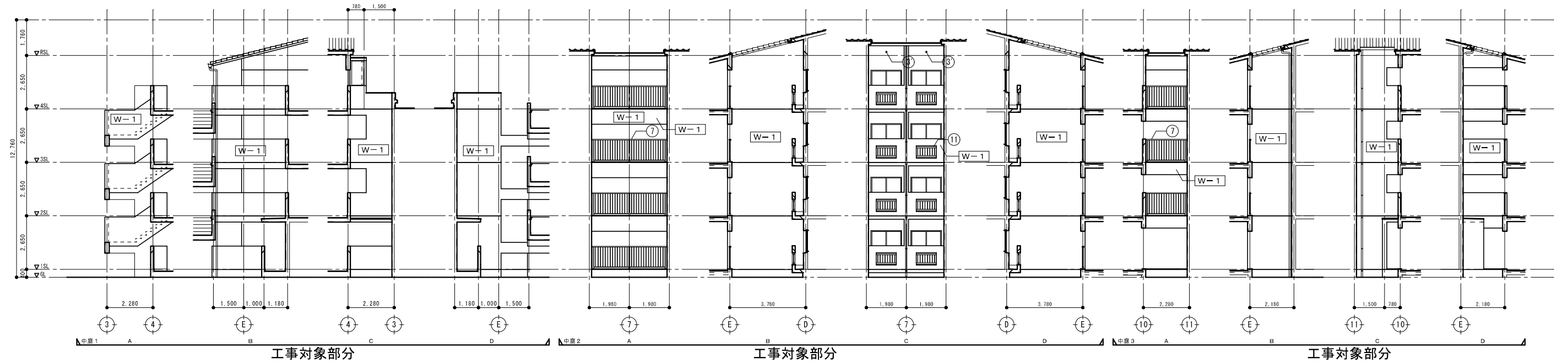
A - 15



特記事項

- ・外廊下に面するアルミ製窓枠等は、平面詳細図参照。
- ・バルコニー・中庭に面するベランダ・バルコニー等は、平面詳細図参照。
- ・記号は、別図（外部仕上表）参照。





特記事項
 ・中庭に面する「イ」・「フ」・「ド」・「ベ」は、平面図参照。
 ・記号は、別図（外部仕上表）参照。